R4.5.25　市民アイディア会議資料　資料２

市民アイディア会議及び庁内アイディア会議　ワークショップ

グループのミライ提案シートをつくる
～KJ 法～

グループ ①

所　属	氏　名
信州大学　学術研究・産学官連携推進機構　助教	本間　喜子
ながの農業協同組合	水野　尚哉
飯山市社会福祉協議会	西川　遼馬
いいやま mama マルシェ	岡村　麻衣子
経済部　商工観光課　観光係	小野沢　崇
経済部　広域観光推進室　広域観光係	田中　　淳

グループ ②

所　属	氏　名
飯山商工会議所	上村　　充
公募委員	モーガン麻衣子
地域おこし協力隊	佐川　芳江
総務部　企画財政課　企画調整係	鈴木　浩之
建設水道部　道路河川課　建設係	猪瀬　大幸

グループ ③

所　属	氏　名
飯山商工会議所	足立　　崇
公募委員	桒原　英里子
サイクルツーリズム識見者	松山　周世
教育部　スポーツ推進室　スポーツ推進係	阿部　哲哉
教育部　子ども育成課　木島保育園	高橋　由恵

＜進め方と時間配分（目安）＞

【進め方】

1　個人ワークでフセンに「いいところ」「もっと良くしたいところ」、「将来像」などのキーワードを記入していただきます。（15分程度）

↓

2　グループワークで、フセンを模造紙に貼っていき、似ている意見グルーピングをしていただきます。（30 分程度）

↓

3　グループとしてのミライ提案シートを記載していただきます。（20 分程度）
※なぜそのビジョンにたどり着いたのか整理しながら。

↓

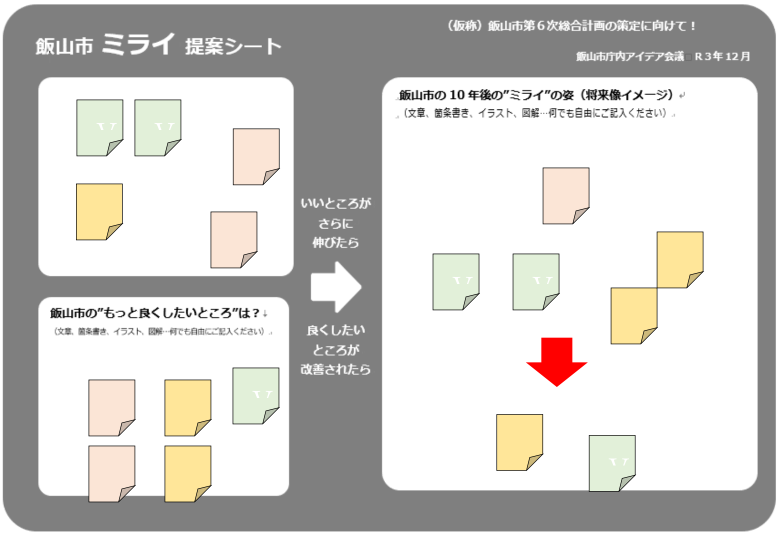
4　発表者を決め発表（提案＋根拠）（5分×3グループ）

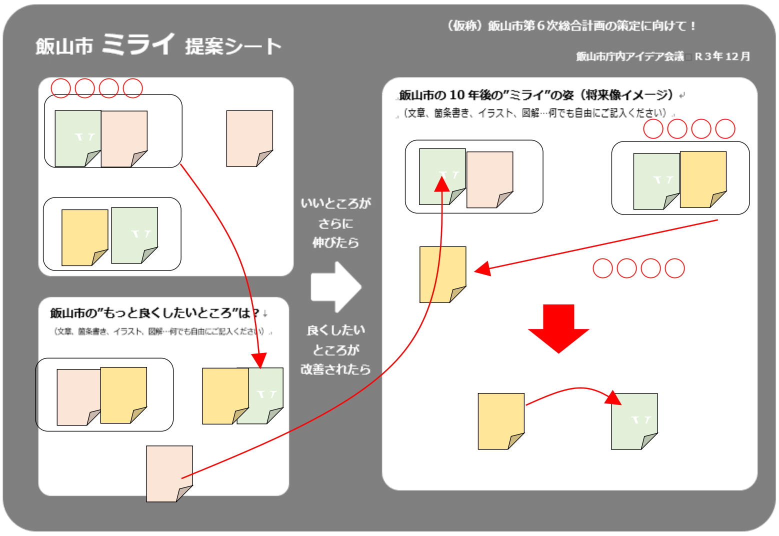
＜参考　ワークショップの心得＞

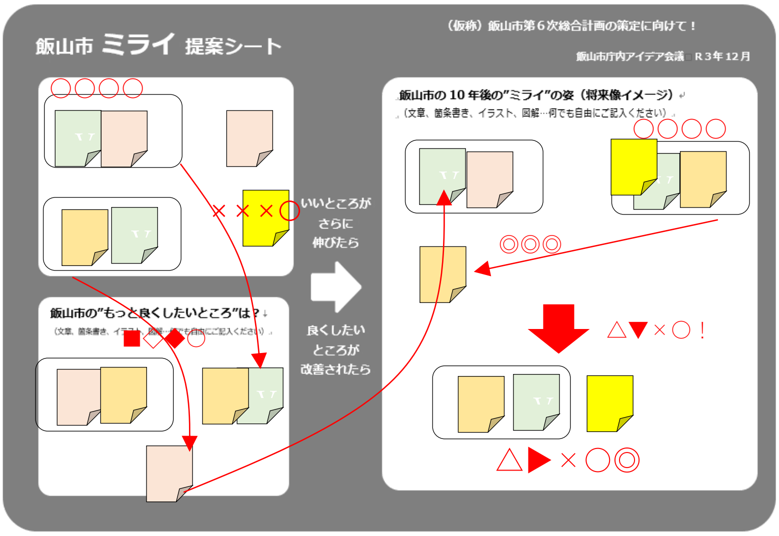
- 発言の際の話はできるだけ短めに！（他の人の話も聞いてみましょう）
- 各人の意見が違ってて当たり前！（否定しないこと）
- 出てきた意見同士をつなげる！（話を楽しみましょう）
- みんなで学ぶ！（ともに教える）

あくまでもイメージです！

<table>
<tr>
<td>各人において、説明しながら付箋を貼る。
（進め方：1～2）</td>
<td>
模造紙のイメージ（自由）
※どういう根拠で提案に至ったのかが分かれば、<u>書式は自由にお願いします。</u>



</td>
</tr>
<tr>
<td>・関係性を整理しながら、分類毎に分ける。
・適宜、会話は書いていただく。
（進め方：3）</td>
<td>


</td>
</tr>
<tr>
<td>・内容を追加したり、補足説明を書きながら、全体を整理し、グループとしての未来像をまとめる。
・なお、どういう根拠で提案に至ったのかが分かるようにしていただく。
（進め方：3）</td>
<td>


</td>
</tr>
</table>

ワークショップの補足説明（メモ）

１　提出いただいた提案シートについて

今回のワークショップ結果を取りまとめる上での根拠材料や将来都市像や基本目標などの説明文及び施策の構築などに活用させていただきます。

２　ワークショップの目的

グループ毎の「ミライの姿」を**導く。**

（「いいところは」、「もっと良くしたい所は」　→　ミライの姿）

３　各項目における付箋の記載内容（ルール）

○「いいところは」、「もっと良くしたい所は」

・付箋にはキーワードレベル（詳細は提案シートを踏まえて口頭で説明）

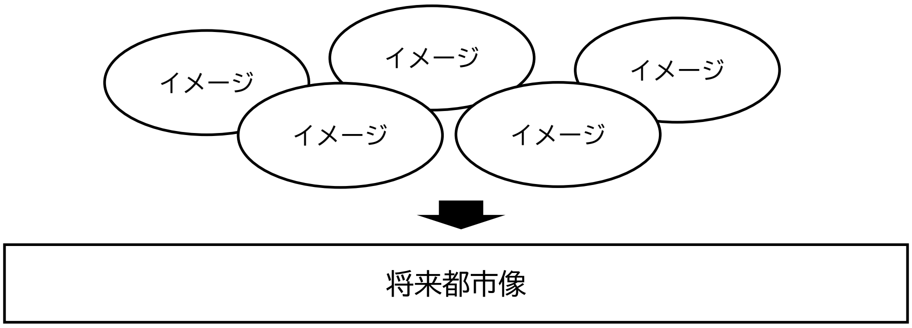
・先ずは“特に”思うところを挙げていただき、グルーピング作業などで必要により追加。

○ ミライの姿

・手段ではなく、ありたい姿*（飯山を誰かに紹介する際に「飯山ってこんなところ・・・」と表現できるような短い文章）*をイメージ。（手段が重要であれば付箋に記載）

・上記のイメージは、「いいところは」、「もっと良くしたい所は」から導かれる形で。

・各イメージを一つのフレーズで「将来都市像」として提案。



・イメージ（短い文書）は基本目標や将来都市像の説明文書にもなる。

○ 基本目標

・イメージを参考に

※全ての行政分野をカバーする必要はありません。“これだけは”というイメージを。